



実証試験中のTV映像



実証試験用映像・音声記録ディスク

## 2. 判定基準

上記4環境下でのテスト結果に基づき、以下の基準により、総合的な判定を行った。

表4；判定基準													
項目	定義の説明												
判定A	<p>高速道路走行中の聴取力の違いを、各モニターのテスト②と④の正解数を以下の式で算定した%により、下表により各モニターの反応を判定した。</p> $(\text{③} \cdot \text{①}) / \text{③} = A$												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>判定</th> <th>Aの%</th> <th>定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>UP(向上)</td> <td>10%以上</td> <td>補聴器等よりも車載型ループ補聴を使用した場合が良好に聞き取れたと判定した。</td> </tr> <tr> <td>≒(変化なし)</td> <td>10%未満～ ・10%超</td> <td>いずれの場合も大きな差異が無かったと判定した。</td> </tr> <tr> <td>Down(低下)</td> <td>・10%以下</td> <td>補聴器等よりも車載型磁気ループ補システムを使用した場合が聞き取りにくかったと判定した。</td> </tr> </tbody> </table>	判定	Aの%	定義	UP(向上)	10%以上	補聴器等よりも車載型ループ補聴を使用した場合が良好に聞き取れたと判定した。	≒(変化なし)	10%未満～ ・10%超	いずれの場合も大きな差異が無かったと判定した。	Down(低下)	・10%以下	補聴器等よりも車載型磁気ループ補システムを使用した場合が聞き取りにくかったと判定した。
	判定	Aの%	定義										
	UP(向上)	10%以上	補聴器等よりも車載型ループ補聴を使用した場合が良好に聞き取れたと判定した。										
≒(変化なし)	10%未満～ ・10%超	いずれの場合も大きな差異が無かったと判定した。											
Down(低下)	・10%以下	補聴器等よりも車載型磁気ループ補システムを使用した場合が聞き取りにくかったと判定した。											
判定B	<p>アイドリング駐車中の聴取力の違いを、各モニターのテスト②と④の正解数を以下の式で算定した%により、下表により各モニターの反応を判定した。</p> $(\text{④} \cdot \text{②}) / \text{④} = B$												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>判定</th> <th>Bの%</th> <th>定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>UP(向上)</td> <td>10%以上</td> <td>補聴器等よりも車載型ループ補聴を使用した場合が良好に聞き取れたと判定した。</td> </tr> <tr> <td>≒(変化なし)</td> <td>10%未満～ ・10%超</td> <td>いずれの場合も大きな差異が無かったと判定した。</td> </tr> <tr> <td>Down(低下)</td> <td>・10%以下</td> <td>補聴器等よりも車載型磁気ループ補システムを使用した場合が聞き取りにくかったと判定した。</td> </tr> </tbody> </table>	判定	Bの%	定義	UP(向上)	10%以上	補聴器等よりも車載型ループ補聴を使用した場合が良好に聞き取れたと判定した。	≒(変化なし)	10%未満～ ・10%超	いずれの場合も大きな差異が無かったと判定した。	Down(低下)	・10%以下	補聴器等よりも車載型磁気ループ補システムを使用した場合が聞き取りにくかったと判定した。
	判定	Bの%	定義										
	UP(向上)	10%以上	補聴器等よりも車載型ループ補聴を使用した場合が良好に聞き取れたと判定した。										
≒(変化なし)	10%未満～ ・10%超	いずれの場合も大きな差異が無かったと判定した。											
Down(低下)	・10%以下	補聴器等よりも車載型磁気ループ補システムを使用した場合が聞き取りにくかったと判定した。											
除外データ	<p>図5、図6から明らかな通り、①～④の最高正解率10%未満のモニターは、環境条件の違いに反応できるほどの聴力を有していないと考えられるので、判定データとしては使用しなかった。</p>												